

# SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.201＞ 2025 年 11 月 21 日号



## かわらばん特別企画「修養団と私」

2022年1月号よりスタートした「修養団と私」。他の組織との交流のきっかけや運動推進の原動力として、各地で活動されている方々に、特別寄稿いただいております。

### 修養団と私

修養団広島県連合会

会長 石田 博嗣



令和7年度SYD広島子ども自然体験キャンプに久しぶりに弟が全日程に参加してくれました。キャンプ中は休む暇もなく裏方仕事を担ってくれた弟に感謝でした。

私たち兄弟は多少、入口は違いましたが同じ福祉の仕事に従事しています。弟は障害福祉サービスを経営し、私は医療機関に勤めています。二人の共通点と言えば、日々、笑いの種を撒いていることでしょうか。社会が複雑化、多様化、高度化する今、解決が困難な生活課題を抱えておられる方々、それを支える職員さん、そして自分自身のためにもホッとできるような笑いの要素が時に必要ではないかと思っています。それが私たち兄弟の得意とする「幸せの種」の品種でしょうか。こうした品種(性格)を育み、多くの人々と出会い、想いを交わし、共に歩む仕事にたどり着いた出発点には、やはり修養団との出会いがありました。

私は小学校5年生の時に修養団と出会い、気付けば40年の月日が流れました。お調子者の少年時代から、大人に憧れて背伸びをしていた

青年期、就職して結婚、親となり、子ども達も成人して、そろそろ老後の心配を始めようとしている今に至るまで、いつの時代も修養団は私と共に歩んでくれました。それは今や、生きていくうえで必要な水や空気、高値が続くお米のように、私にはなくてはならない大切な場所となっていました。

私たち兄弟は必ずしも真っすぐな人生を歩んで

きた訳ではありません。特に青年期は反抗と無責任な行動を繰り返し、多くの人に迷惑をかけながら、時に失敗を繰り返してきましたが、後戻りできないほどに道を踏み違えなかったのは修養団のおかげです。

修養団の活動に参加していると、なんとも気持ちのいい笑顔に包まれます。例えば、キャンプや全国の仲間たちとの集いでは、互いに個性を認め合い、一人ひとりの長所が引き出され、やがてみんなが輝き始めます。その輪の中に居られることが嬉しく、安心と安らぎすら感じていました。そこに、生まれ持った容姿だけではない、ブランド物の衣装にはない、人のすばらしさ＝“真のカッコよさ”のような憧れを抱きました。そして、蓮沼門三先生や講師のお言葉、そして全国の仲間たちとの学びは、日々の生活の中で「人はどうあるべきか」を常に問い掛け続けてくれるようになりました。その結果、誰かの役に立ちたいという思いが芽生え、ご縁があって福祉の道を歩み始めたのだらうと思います。

さて、修養団と出会って40年、修養団での学びを私は家庭や職場でどの程度、活かすことができているかと言えば、家庭では甘えもあり、職場でも周囲に配慮が足りていない場面があることを認識しています。これからの目標は、日常の生活の中で“愛と汗”を実践できるように、一層の努力を続けることです。その点では、大人になって弟と修養団の活動に参加できたことは、共に成長できる友を得たように嬉しく、人生の集大成というべき老後に向けて頼もしい存在を得ることができました。これからも広島を拠点に“愛と汗”の実践を重ねて、一つでも多くの幸せの種を撒いていこうと決意を新たにしています。



雅也さん(弟)

博嗣さん(兄)

今夏の広島キャンプでは  
キャンプ長を務めました



修養団創立120周年を目前に、感謝の気持ちを忘れず、次の世代に「総親和」「総努力」による「総幸福」というバトンを引き継げるよう、修養団活動と日々の実践を続けていきます。それは人生を豊かにすることに通じることでしょう。

寄り道が多い兄弟ですが、引き続き、ご指導よろしく願いいたします。

① 好きな言葉 → 「もう一歩」

② 私のおすすめの本

→ 「統計学が最強の学問である」

著者: 西内 啓(ダイヤモンド社・2013年)

※読むとすぐに入眠できます(笑)

③ 好きな食べ物→お寿司

④ 趣味→ゴルフ、ソフトボール、キャンプ

⑤ 最近、始めようとしていること→ 断捨離

⑥ 夢(子どもの頃と現在)

→子どもの頃はアナウンサー、今は社会福祉士と大学講師

⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ

→年に一度は、健康診断や人間ドックを受けましょう！(現在、健康管理センターに勤務中)

➡ご感想やメッセージなどありましたら、ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

## 主催事業・活動等

### 報 告

#### 10/15～17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢

市・伊勢青少年研修センター〕56人《武田数宏、保坂正志、斎田聖生、竹本英美、大平順一、宮崎玲良》



伊勢神宮で最も由緒深い祭典である「神嘗祭」に合わせた特別講習会を実施。

15日は特別講師の金子一也氏、山中一孝氏による講話がおこなわれ、神宮や神嘗祭に対する認識を深めた。

16日、参加者は雨の降りしき中、今年のお初穂が乗った木船を綱で引く「川曳き」行事に参加し、初穂は神宮へ奉納された。夜には、市内にある猿田彦神社の神職が来

場し、「神嘗祭奉祝祭」が斎行されたほか、伊勢神宮・内宮で斎行される祭儀「由貴夕大御饌の儀」(ゆきのゆうべのおおみけのぎ)を奉観した。

翌日は内宮への参拝、御神楽を奉納し、来年の再会を約束し合いながら解散した。参加者の多くがその後おこなわれた祭儀「奉幣」も奉観し、神宮を通じて日本の伝統文化を体感した。



#### 10/18～19…「WAKU×2ボランティアリーダー研修会」(北九州)15人〔福岡県宗像市・県立少年自然の家・玄海の家〕 《保坂正志》



12月に実施する冬キャンプに向け、工作活動として紙皿やハンガーを使ったクリスマスリースやスノードームを作った。





2日目は、キャンプで実施するレクリエーションを実際に体験し、紙飛行機や風船、新聞紙を用いたゲームを通じて、子どもたちとの楽しい時間をイメージしながら、展開の仕方を確認した。

### 10/24～28…「ばんだいリーダーの集い」10人

〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕

《谷野渉、鈴木綾、林春幸》



ばんだいふれあいぴあでの各種青少年事業にたずさわる青年リーダーが集まり、25日と26日の2日間にわたってテントの修復と汚れ落とし、室内清掃、および整理整頓などをおこなった。(職員は28日まで作業を継続)また、修養団福島県連合会の江藤晃靖事務局長も参加し、リーダーとともに作業にあたった。

この活動は毎年この時期におこなわれ、施設の維持保全に協力をいただいている。

### 11/8…「チャリティーバザー(幸せの種まき祭り)」

〔東京都渋谷区・SYDホール、玄関前広場〕



全国のSYD連合会・クラブをはじめ、趣旨にご賛同いただいた企業から提供された衣類や特産品のほか、北海道、埼玉県、岐阜県などから届いた新鮮な野菜を販売した。

同時にリユース品コーナーの設置、綿菓子の無料配布、ポップコーンなどの販売もおこなった大盛況で終了した。収益金は「幸せの種まき献金」に入金され、ストリートチルドレンや国内外の災害被災者支援に活用される。

### ★子どもWAKU×2ひろば

10/19…友愛 72人〔岐阜県安八町〕 《板倉和也》



当日未明まで雨降りだった天候も回復し、参加者は思い思いにさつまいもを掘り出していた。今年のさつまいもは予想に反し大きく育ち、実りの秋、そして収穫の喜びを体験することができた。

### 11/1～3…松原湖畔 28人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕

《谷野渉、増田航介、林春幸》



「子ども自然体験秋キャンプ」として実施。期間中は雨のため一部のプログラムが変更となったが、参加した子どもたちはないとプログラムで焼き芋や焼きマシュマロを味わったほか、



野外炊事でのうどん作り、会場周辺に落ちていた葉っぱや松ぼっくりなどをガラス瓶に詰め、液体を注ぎ込み鑑賞用とする「ハーバリウム」作りなどにチャレンジした。

### 11/1～3…広島 14人〔広島県福山市・ふくやまふれ

愛ランド〕 《板倉和也》

初日は山登りをしたり、夜にはどんぐりやモミジの葉などをフレームにあしらった写真立てを作ったり、自然にふれあう一日を過ごした。

2日目は野外炊事でのカレー作り、モルック(フィンランド発祥のスポーツ)、キャンプファイヤーなど多くのレクリエーションで盛り上がった。

3 日目は協力して後片付けをし、無事に終了した。



11/15～16…瀬戸内海〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕 《板倉和也、林春幸》

※活動の詳細は次号に掲載します

### 【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

#### 報 告

10/28 愛知県 津島市立西小学校 74 人  
11/ 5 東京都 中村中学校・高等学校 30 人  
11/ 6 神奈川県 カリタス女子中学高等学校 228 人

#### 予 定

12/ 2 東京都 江戸川区宇喜田小学校  
12/12 北海道鶴川高等学校

#### 予 定

11/22～23…家庭《共育》ひろば「ファミリーキャンプ」〔千葉県柏市・県立手賀の丘少年自然の家〕 《保坂正志、志村和也、板倉和也》

11/29～30…「ボランティア・アクションin瀬戸内海」〔香川県善通寺市・四国こどもとおとなの医療センター〕 《板倉和也》

12/2～5…第1234回「みがく講習会」  
《武田数宏、志村和也、板倉和也、宮崎玲良、齋田聖生、竹本英美、大平順一》

### ★WAKU×2ボランティアリーダー研修会

12/13…鹿児島〔鹿児島県日置市・伊集院地区公民館〕  
《志村和也》

12/13…沖縄〔沖縄県読谷村・健康増進センター〕  
《谷野渉》

### ★子どもWAKU×2ひろば

12/6～7…北九州〔福岡県北九州市・市立かぐめよし少年自然の家〕 《林春幸》

12/14…鹿児島〔鹿児島県日置市・伊集院地区公民館〕  
《志村和也》

12/14…沖縄〔沖縄県読谷村・健康増進センター〕  
《谷野渉》

### 12/7…第9回「東京ベルズ」チャリティーコンサート〔東京都渋谷区・SYDホール〕

《入場料》4,000円

(高校生以上は1,000円、小・中学生は500円)

東京ベルズによるクリスマスナンバーのほか、カラオケでもよく歌われる歌謡曲をアカペラ(無伴奏コーラス)に作り変えた曲やメドレーなどを披露する。今年も「さいたまシティジュニアコーラス」が賛助出演する予定。

収益金はSYD「幸せの種まき献金」を通じ、ストリートチルドレンへ支援に活用される。

チケット申し込み、「心の参加者」(ご寄付)についてはSYD社会教育部まで。(03-3405-5441)



チケットお申込み

QR コードで  
お申込みできます



心の参加者

### 「修養団創立120周年記念大会」に向けてクラウドファンディングを開始しました

フィリピンのごみ山で暮らす子どもたちが記念大会の大舞台でパフォーマンスに挑戦!

目標金額:300万円

目 的:子どもたちの来日費用、活動費、他

募集期間2025年11月1日(土)～2026年1月30日(金)



←QRコードから  
詳細をご覧ください  
※チラシ等ご入用の方は  
下記連絡先へご依頼ください

#### <発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2  
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424  
E-mail: info@syd.or.jp  
ホームページ: https://syd.or.jp/

SYD

検索